

# 下水道使用料の改定について

西原町の下水道事業は、平成14年度から供用開始区域を拡大しております。下水道事業は公営企業として独立採算の原則が定められておりますが、下水道使用料等の経営に伴う収入のみでの事業運営は難しく、一般会計からの繰入金（税金）で収支不足を補っています。このような厳しい状況をふまえ、令和5年度に下水道使用料を引き上げることになりました。

上下水道課といたしましては、引き続き、業務の効率化、経費縮減に努め、更なる経営改善に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**\*水道料金の改定はありません。**

## ■新下水道使用料の適用日について

令和5年5月1日以降の検針分（5月分請求）から改定使用料を適用します。

## ■下水道使用料改定表

- ・汚水量とは、下水道に流す水量であり、基本的には毎月の水道使用量と同量となります。ただし、雨水及び工業用水を流す場合は、それらを含みます。
- ・使用料は、基本使用料と超過使用料との合計額に100分の110を乗じて得た金額となります。

用途区分	汚水量 1月当たり	使用料（税抜き）			
		現行	改定	差額	
家事用	基本使用料	8㎡まで	429円	485円	56円
	超過使用料 1㎡につき	9㎡から25㎡まで	57円	77円	20円
		26㎡から50㎡まで	67円	87円	20円
		51㎡以上	76円	96円	20円
業務用	基本使用料	10㎡まで	714円	784円	70円
	超過使用料 1㎡につき	11㎡から100㎡まで	81円	101円	20円
		101㎡から200㎡まで	95円	115円	20円
		201㎡から500㎡まで	110円	130円	20円
		501㎡から1,000㎡まで	124円	144円	20円
大衆浴場用	1㎡につき	38円	45円	7円	
臨時用	1㎡につき	95円	102円	7円	

\*家事用とは、一般家庭において下水道を使用する場合をいう。

\*業務用とは、会社、工場その他事業所等が営業又は業務に付随して下水道を使用する場合をいう。

\*大衆浴場用とは、大衆浴場等の排水が下水道を使用する場合をいう。

\*臨時用とは、工事、興行その他短期間臨時に下水道を使用する場合をいう。

## ■使用料改定後 標準的な月額額の比較表

用途区分	汚水量	現行額	改定後額	差額
家事用	8㎡を流した場合	429円	485円	56円
	20㎡を流した場合	1,113円	1,409円	296円
	30㎡を流した場合	1,733円	2,229円	496円
	50㎡を流した場合	3,073円	3,969円	896円
業務用	10㎡を流した場合	714円	784円	70円
	50㎡を流した場合	3,954円	4,824円	870円
	500㎡を流した場合	50,504円	60,374円	9,870円
	1,000㎡を流した場合	112,504円	132,374円	19,870円

【お問い合わせ】 上下水道課 下水道業務係 ☎ 098-945-4934

《西原町給水工事指定店》

台所・浴室・トイレ  
水廻りのリフォーム

水道管取替え工事

お見積り無料!!



サンリフォーム沖縄

西原町字内間111-2  
TEL.882-9155



0120-882-916

お気軽に  
お電話下さい。



# 旗頭（ハタガシラ）

旗頭は、伝統行事の一つである綱引きの雰囲気盛り上げるとともに、両陣営の心意気を集結させてくれます。

綱引きで勝った方は旗頭を高々と掲げ、喜びを演舞で表現することから綱引き行事にとって重要な存在です。

現在、綱引きを行っている十ヶ字の内、八ヶ字に旗頭があり、坂田ハイツと兼久は旗頭のみ仕立て地域のシンボルとして演舞を行っています。

戦前、本町（当時は村）では、河川改修事業の完成と村の平和を祈念して西原村大綱引きが行われました。

このときは日中戦争が勃発（昭和十二年七月七日）した時で、村の若者らに召集令状がきたことから、この綱引きは急遽出征兵士約四十人の壮行会も兼ねて行われたそうです。

全村民が西原尋常高等小学校（現在の西原中学校）前の馬場に集合し、旗頭を中心に二組に分かれてガーイー（競演）を行い、それぞれ旗頭を先頭に二手に分かれて綱引き会場の我謝馬場までミチジュネー（芸能や祭りでの練り行列）し、ハタジョウ（旗竿）を持つ人は、各字から選ばれた若者（強者）ら五十人余が対応したようです。

各字の旗頭は、それぞれ地域の

歴史や願いが表現されています。

字小橋川の旗頭は、大正三年の第一次世界大戦時に、青島陥落を記念しての祝賀会で「凱歌（※）」と「招豊年」の旗頭が仕立てられました。

「凱歌」の文字は戦勝を祝って刻まれたものと推測されます。

また、字嘉手刈の旗頭は、集落内に「内間御殿」（国指定史跡）や「サワフジ」（町指定天然記念物）があることから、アガリ（雌綱）のトゥルー（灯笼）は尚円王に因んだ左御紋（ヒジャイグムン）、イリ（雄綱）のトゥルーは「サワフジの花形」の仕立てになっています。

旗頭の主な構造は、ハタジョウ、トゥルー、サンマー（水平に出た飾り）、ハタ（旗）、吹き流し等です（図参照）。

重量があるため、軽量化するための工夫として、トゥルーを紙や竹と紐の細工で仕立てているところもあったそうです。ちなみに、サンマーが上下に揺れることで風圧を受けて旗頭が軽くなるとも言われています（驚が空中を飛ばす姿にも似ている）。

また、旗頭には演舞で地面に落とされた場合の損傷を防ぐため、トゥルーの構造や接続部分の工夫で衝撃を吸収する仕組みや、イシジチ（図参照）によるハタジョウの破損防止など、先人の知恵

と工夫が見られます。

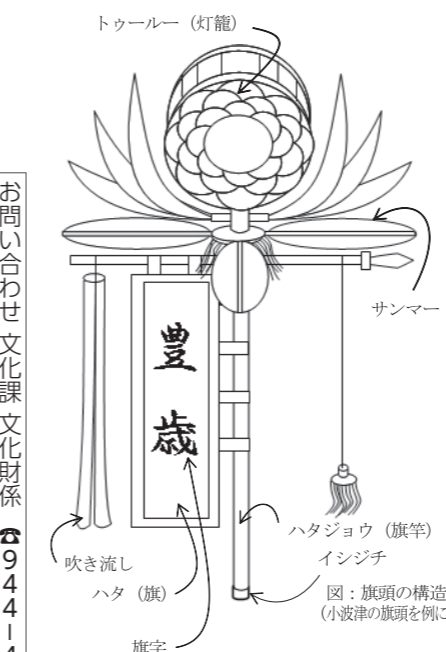
地域の願いがこもった旗頭を勇ましく躍動しながら持ち上げるハタムチ（旗持）は、綱引きや旗頭イベントの花形です。

股引半套と称される衣装を身にまとった若者の演舞は、地域の子どもたちの憧れの的でありますが、重量がある旗頭を持ち上げるには体力だけではなく、風向きを踏まえた持ち方や交代の仕方など、技術と経験が必要になります。

このように、地域の誇りである旗頭には、いろいろ魅力が詰まっていますので、是非、ハタムチとして、地域の綱引き行事に参加してみたいかがでしょうか。

現在、「西原さわふじマルシェ」内の西原劇場には、小波津の旗頭が常時展示されています。

また、今年二十四日の西原まつりの会場（町民体育館）では、地域の旗頭の展示が計画されています。



- この機会に、その魅力を確認してみたいかがでしょうか
- 幸地（各地域の旗字）
  - 繁米（上組雌綱）
  - 柵原（上組雄綱）
  - 盛（下組雌綱）
  - 坂田ハイツ（飛翔、坂田っ子）
  - 小橋川（※凱歌（東組雄綱）、招豊年（西組雌綱）
  - 内間（※栄光（アガリ雄綱）、招豊年（イリ雌綱）
  - 嘉手刈（瑞光（イリ雄綱）、雄渾（アガリ雌綱）
  - 小那覇（飲楽（前組雄綱）、栄光（後組雌綱）
  - 兼久（致和）
  - 我謝（養氣、和衷（リングー）
  - 雄綱、協力（ウフカー）
  - 雌綱
  - 小波津（豊歳（ニシ雄綱）、繁米（ミージマ雌綱）
- ※現在は旗頭はない。

宝くじ 公式サイト

いつでも、どこでも。宝くじをもっと手軽に、もっと便利に!

24時間いつでもネット購入



24時間買えて、ポイントもたまる! 今すぐ会員登録



お問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)